夏 2023年⑥⑦⑧月 イベントご案内

㊤…定員　㊕…参加料金　㊥…申込方法　㊟…備考　㊒…持ち物

WEB受付開始 6月のイベントは実施日の14日前 7・8月のイベントは実施日の1か月前
申込方法については公園ホームページのイベントページをご確認下さい。

動植物体験プログラム

プロジェクト・ワイルド 自然発見塾

野生の生きもののくらしを楽しく学ぼう！
6月10日(土)、7月8日(土)、
8月12日(土) 13:00~14:30
㊤30名　㊕100円
㊥WEB事前申込　㊟雨天決行

里山自然観察会 田んぼの生きもの探検隊 夏編

田んぼ、田んぼの畔、水路に分かれて
動植物を観察します。
7月2日(日)
13:00 ~ 15:00
㊤20名　㊕100円
㊥WEB事前申込
㊟雨天中止

ホタル・昆虫観察会 7月30日(日) 18:00 ~ 21:00

夜の自然生態園でホタルや昆虫を観察します。㊤20名　㊕100円　㊥WEB事前申込　㊟雨天中止

手作り体験プログラム

里山生活体験 うどんをつくろう

自分で粉からこねてうどんを作り、味わおう！
6月17日(土)、7月15日(土)
10:00 ~ 13:00
㊤各日4組（1組4名まで）　㊕200/玉
㊥WEB事前申込　※変更受付は開催日前の木曜日まで
㊟雨天決行　㊒三角巾、エプロン、マスク

里山伝承体験 竹細工をしよう

水鉄砲、竹トンボなど竹でおもちゃを作ってみよう！
6月3日(土)、7月16日(日)、
8月11日(金祝)
10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 15:30
㊤各回20名　㊕100円/作品　㊥当日受付　㊟雨天決行

コースターをつくろう

「綿」から紡いだ糸を使ってコースターを作ります。
7月1日(土)、
10:00 ~ 12:00
㊤5組　㊕700円/作品
㊥WEB事前申込　㊟雨天決行

うめぼしをつくろう

1回目：梅干の塩づけ（1Kg予定）
2回目：天日干し漬け込み、梅干しのおにぎりづくり
6月3日(土)、7月8日(土)
10:30 ~ 12:00
㊤5組　㊕6/3は500円/組　7/8は100円/人
㊥WEB事前申込
㊟雨天決行
㊒三角巾、エプロン、マスク、梅が1Kg入る保存ビンまたはビニール袋

わら草履をつくろう

わらを使って昔ながら
の草履をつくろう
7月17日(月祝)
10:00 ~ 12:00、
13:00 ~ 15:00
㊤各回4組
㊕100円/作品
㊥WEB事前申込
㊟雨天決行

綿から糸をつくろう

「綿」から紡いで
糸作りの体験をします。
8月6日(日)
10:00 ~ 12:00
㊤5組　㊥WEB事前申込　㊟雨天決行

森の体験プログラム

それゆけ！きこり探検隊 ヒノキ間伐体験

ヒノキをのこぎりで伐る体験をします。
7月1日（土）10:00~13:00
㊤20名　㊕100円/人
㊥WEB事前申込　㊟雨天中止

その他

遊びの楽校（こどもから大人まで参加できます）

竹馬、竹トンボ、羽根つきなど
懐かしい昔遊びが楽しめます！
6月1日(木)~8月31日(木)
10:00 ~ 閉園1時間前
㊥当日受付　㊟雨天決行

里山ネイチャーデイキャンプ

池の調査や自然観察、
火を起こして調理を行うなど
夏休みの自然生態園を満喫します。
7月23日(日) 10:00 ~ 18:00
㊤小学校4年生~6年生　25名
㊕2,000円/人　㊥WEB事前申込
㊟雨天決行（荒天中止）

短冊うちわ＆短冊を飾ろう

短冊うちわもしくは短冊に願い事を書いていただき、青竹に飾ります。
7月2日(日)~ 8月7日(月)
㊤短冊うちわ：先着30名（期間中）　短冊：多数
㊕短冊うちわ：300円/個　短冊：無料　㊥当日受付

このかわら版は、「まんのう公園インタープリター・ボランティアの会」、「国営讃岐まんのう公園さぬきの森の会」の皆様のご協力を頂いております。

イベントは変更または中止になる場合がございます。予めご了承ください。

国営讃岐まんのう公園 自然生態園
〒766-0023　香川県仲多度郡まんのう町吉野4243-12
各種イベントのお問合せはこちらまで↓　Facebookはこちらから↓
0877-79-1807
FAX：0877-79-1704
ホームページ：https://sanukimannopark.jp

さぬきの森の会 会員募集

国営讃岐まんのう公園さぬきの森で、森づくりや森林体験イベントなどの活動を行う「さぬきの森の会」の会員を募集中です。興味のある方、詳しい内容を知りたい方は、是非、自然生態園までご連絡ください。

202305 9,000

かわら版　2023年⑥⑦⑧月

自然生態園 さぬきの森 夏号

Natural Ecological Garden Sanuki Woods

ガイドプログラム　参加無料　※入園料・駐車料金が別途必要となります。

自然生態園 ガイドウォーク

インタープリターと一緒に
楽しく散策をしよう！
土日祝
10:30~12:00、
13:30~15:00
※但し8月19日・20日を除く
㊤各回10名　㊥当日受付
㊟荒天中止　雨天決行
※平日の団体のガイドウォークも開催しています。詳細は自然生態園までお問い合わせ下さい。

さぬきの森 ガイドウォーク

インタープリターが普段公開していないエリアもご案内します！

土日祝
6月18日(日)、
7月16日(日)、
8月13日(日)
10:30 ~ 12:00、
13:30 ~ 15:00
㊤各回10名　㊥当日受付
㊟少雨決行

満濃池展望遊歩道 ガイド

展望遊歩道から満濃池の歴史や空海についてご案内します！
6月4日(日)
10:30 ~ 12:00
13:30 ~ 15:00
㊥当日受付（随時）　㊟雨天中止
（集合場所は、満濃池展望遊歩道　希望の橋）

湖畔の森 ガイドウォーク

インタープリターが満濃池の
すぐ近くまでご案内します！
6月24日(土)
10:00 ~ 15:00
㊤10名
㊥WEB事前申込/締切は
開催日前の6/22(木)まで
㊟雨天中止　㊒昼食、飲み物

㊤…定員　㊥…申込方法　㊟…備考　㊒…持ち物

あなたも自然を伝える活動に参加しませんか！
インタープリター・ボランティア インターンシップ研修

目的　インタープリター活動に興味がある方に、気軽に活動を体験し、活動内容をご理解いただく講座です。
募集　随時受付
対象　高校生以上の方

インタープリターとは「自然案内人」です

インタープリターは、一般的に《通訳》と表現されていますが、国営讃岐まんのう公園では園内の自然や歴史・文化を知識のみではなく、その背景にあるメッセージを含めてわかりやすく伝える人をインタープリターと呼んでいます。

年間通じての養成講座にて、自然に関する興味を深めると同時に、インタープリターボランティアとして活動するための知識・技術を学びます。

自然生態園 さぬきの森 夏

動物 コシアキトンボ

6～7月　逆様池

中型の黒っぽいトンボ。腹部の第3・4節にオスは白、メスは、黄色い斑紋があり、腰の部分が空いているように見えることから「腰空きとんぼ」と呼ばれます。

動物 シオカラトンボ

6～8月　全域

青灰色の粉をふいたような色をしているのは、オスの印でメスは茶褐色をしていることからムギワラトンボと呼ばれることもあります。

動物 トノサマガエル

春～秋　南の谷、北の谷など

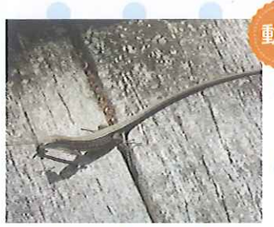
かつては水田やため池で普通に見られたカエルですが、稲作のサイクルや環境の変化によって生息数が減り、準絶滅危惧種となっています。

背中の中央を通る線が緑色ならオス、灰色ならメスです。

動物 ニホンカナヘビ

春～秋　生態園全域

「ヘビ」と付きますが、トカゲの仲間で、小型の昆虫などを食べます。草むらなどに棲み、朝のうちは、石垣の上で日光浴中の姿に出会えるかも。



植物 ユウスゲ

7月　湿地の谷など

湿地に咲くユリの仲間です。夕方になると開く花は一夜限りで、翌日の朝にはしおれてしまいます。

動物 キビタキ

夏鳥として訪れ、大きな木が生える森によく見られます。オスは眉や胸、腰があざやかな黄色なのが特徴です。メスは全身がオリーブ色です。枝に止まって、空中に飛び出す虫を待ち伏せして捕まえます。

植物 オカトラノオ

野山の草地に生える多年草です。6～7月に白い花を咲かせます。花(花穂)の形が"虎の尾"に似ているので、オカトラノオと呼ばれます。花は花穂の下から上に順番に咲いていきます。

お客様へお願い

- 動植物は、管理されているため採取は禁止となっております。
- 自然環境を保つため、かぶれやすい木やマムシ、スズメバチなど危険な動植物も生育・生息しています。ご注意ください。
- 生態系保護のためペット類の持ち込みはできません。
- ウォーキングに適した靴を履いてご来園ください。
- さぬきの森へは、閉園1時間前までにお入りください。お車、自転車でのご入園はできません。

動物 センダイムシクイ

夏鳥で、主に落葉広葉樹林で子育てをする。チヨチヨビーというさえずりが「焼酎一杯ぐぃー」と聞きなされる。巣は斜面の崖地の穴などに作ります。ツツドリに托卵されることでも知られています。

動物 サンコウチョウ

夏鳥として訪れ、少し薄暗い林で見られます。

「ツーキ・ヒー・ホシ、ホイホイホイ」と言うさえずりが「月、日、星」と聞こえることから「三光鳥」と呼ばれます。

植物 コジイの巨木

さぬきの森で最も大きい(？)シイの木です。樹齢は・・・何才でしょうね。80～100才前後と推定されます。

アクティビティ　いろいろいっぱい 色いっぱい

プロジェクト・ワイルド

1. 参加者に好きな生きものの名前とその色を言ってもらう。それを列記し、なぜ生きものに色がついているのだろう？と問いかける。
2. 様々な生きものののカタチを描いた絵を見せ、好きなものを選び、その生きものの色を塗ってもらうことを告げる。また、どうして、その色なのか、理由を発表してもらうことも付け加える。
3. 参加者の絵を一堂に会し、一人ひとり発表してもらう。
4. 同じ生きものでも棲んでいる環境により色が違うことや親子でも色が違う場合もあることなどに気づいてもらう。保護色、警告色、威嚇色や婚姻色など生きものにとっても体の色は、生きるために重要な役割を果たしていることを理解してもらう。

トピックス　自然生態園のカエルたち

豊かな里山の環境が残っている自然生態園では、多くのカエルが生息しています。産卵時期やオタマジャクシからカエルとなって陸に上がる時期は、カエルの種類により異なります。北方系のカエルは6月頃(田植えの時期)までに、南方系のカエルは7月頃までにオタマジャクシからカエルとなり陸に上がります。

	カエルの種類	産卵期	卵塊形状　産卵数	鳴き声
北方系	ニホンアカガエル	1月中旬～3月中旬頃に一度、冬眠から目覚めて産卵し、また冬眠します。	産みたては、手で卵塊が持てます。500～3,000個	キョッ、キョッ、キョッ
	ヤマアカガエル		手で卵塊を持つとゼリー状にたれます。1,000～1,900個	キィララ、キィララ
	ニホンヒキガエル	秋から翌春	ひも状　6,000～14,000個	クッ、クッ、クッ
南方系	トノサマガエル	4月下旬～6月上旬	つぶれた円形状　2,000～3,000個	グルル、グルル、グルル
	ニホンアマガエル		少量ずつ数回に分けて産む　250～800個	ゲッ、ゲッ、ゲッ
	シュレーゲルアオガエル		泡状の楕円形100～660個	コロロ、コロロ、コロロ
外来種	ウシガエル	5月～8月	6,000～4万個	ウオー、ウオー、ウオー

※ウシガエルは、特定外来生物のため、捕獲、駆除を試みています。

自然生態園の南の谷にある田んぼでは、カエルたちが生きていくことのできる豊かな環境を保全するため、インタープリター・ボランティアのみなさんと一緒に、田んぼを耕さない「不耕起栽培」、冬でも水を抜かない「冬水田んぼ」、除草剤を使わない「人力で草抜き」で古代米を育てています。土・日・祝に開催しているガイドウォークでは、田んぼとカエルの関係についても解説をしています。是非ご参加ください。